

第4回 小丸川・一ツ瀬川水系 水防災意識社会再構築協議会 開催

小丸川・一ツ瀬川流域等の関係機関が連携・協力し、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として協議会を設立し、ハード・ソフト対策を一体的、計画的に推進しています。

第4回となる今回の協議会では、H30年度に宮崎市内で発生した内水氾濫を受け、新たに内水対策を取組方針に追加することとしました。また減災に係わる取組方針の実施状況をフォローアップし、関係機関で進められている主な取組内容について、共有を図りました。

開催概要

- 日時：令和元年5月31日（金）
- 会場：高鍋町役場 3階第1会議室

協議会 委員名簿

- 規約別表のとおり。

議事内容

- 規約改正（組織名称変更）
- 「減災に係る取組方針」の一部改定
- 「減災に係る取組方針」フォローアップ

各委員からの主な意見について

- 【宮崎河川国道事務所長】本会議はH27年鬼怒川決壊を契機とした会議であり、住民意識を改善しなければならない。ホットラインについては、洪水時に避難勧告等を発令する市町村に河川の状況を把握いただくため実施している。各自治体の危機管理において是非活用してもらいたい。
- 【宮崎地方気象台長】自治体の防災担当者向けのワークショップについて、防災気象情報の適切な理解を目的として、県の河川課、砂防課、危機管理課と連携し、最低でも年1回の開催を予定。各自治体の協力をお願いしたい。
- 【高鍋町長】課題点は新たな警戒レベルの周知と出前講座による水防災意識の向上を図っていききたい。今後は大雨による土砂災害訓練、津波避難訓練を予定している。
- 【新富町長】100年に1度の洪水規模に対応させた防災ハザードマップの作成と、水門、樋門管理のリモート操作化を今年度の計画に盛り込みたいと考えている。
- 【木城町長】昨年度、小学校参観日に合わせ、防災講座・避難訓練・児童引き渡し訓練を学校、児童、保護者の3者を対象に実施した。
- 【川南町長】ハード面の対策として防災備蓄倉庫、避難誘導灯を設置。今年度も進めていきたい。
- 【都農町長】昨年の集中豪雨や台風で大きな被害を受けたため、町全体の排水の再計画のために今年度予算を組んだ。国道や県道、県管理河川等に関連した取り組みを予定している。国、県の協力をお願いしたい。
- 【杉尾アドバイザー】参観日に防災訓練を実施したという取り組みは、保護者に対して防災教育の場として特に良い事例と考えられる。今後も自治体が工夫を重ねて防災対策に取り組んでほしい。

